

新潟県

P

T

A

No.121

発行新潟県小中学校PTA連合会

編集広報委員会
〒950-0965
新潟市中央区新光町7番地2
新潟県商工会館5階

Mailngtknpta@coral.ocn.ne.jp

ホームページもぜひご覧ください!

新潟県PTA連合会

検索

目次

- 1面 会長あいさつ・役員一覧
専門委員会の活動について
- 2面 第24回新潟県PTA広報紙コンクール
令和7年度 日P国内研修事業参加報告
- 3面 令和8年度 本部主催研修会
第74回日本PTA全国研究大会 奈良大会
教育をよくする県民会議の
請願署名について
いじめ見逃し0県民運動
- 4面 一般社団法人新潟県PTA安全互助会
からのお知らせ
小・中学生総合補償制度

県P連スローガン

子どもたちの未来に希望と夢を

～地域で育てる生きる力～



会長あいさつ

会長 板倉 久徳

日頃より新潟県小中学校PTA連合会の活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本年度も県P連会長を務めます板倉久徳です。よろしくお願いいたします。

県P連では、「子どもたちの未来に希望と夢を～地域で育てる生きる力～」をスローガンに掲げ、各郡市P連から選出された理事の皆さまと、子どもたちを取り巻くさまざまな課題について活動を進めています。また、関係機関等との会議を通じ、県内のPTAを代表して保護者や学校現場の声を届けることも大切な役割です。

少子化や社会環境の変化が進み、PTAも大きな転換期を迎えています。いじめや不登校、SNS、部活動の地域展開、生成AIの急速な普及など、子どもたちを取り巻く環境も変化しています。私たち大人も子どもたちとともに学び、考えていく姿勢が大切です。

PTAは「こうでなければならない」というものではありません。それぞれの学校や地域に合った形で、できる人が、できる時に、できることを持ち寄り、無理なく楽しく活動することが大切です。大人たちの笑顔が、子どもたちの笑顔にもつながります。

県P連も皆さまの声に耳を傾け、ともに考え、学びながら、子どもたちの未来のために歩んでまいります。本年度もよろしくお願いいたします。



大塚雪乃
副会長

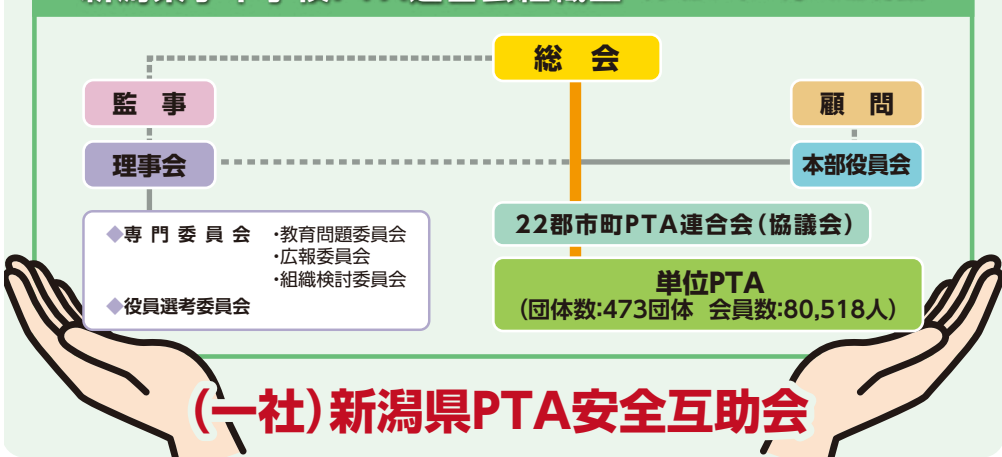
宮坂哲也
副会長

板倉久徳
会長

畠山 徹
副会長

高澤 樹
副会長

新潟県小中学校PTA連合会組織図 (令和8年7月13日現在)



令和8年度 役員

役職	所属	氏名	委員会
会長	新発田	板倉 久徳	
副会長	上 越	畠山 徹	教
副会長	柏 崎	宮坂 哲也	広
副会長	南魚沼	大塚 雪乃	組
副会長	聖 籠	高澤 樹	広
監事	小学校長会	土佐 和久	
監事	十日町市津南町	藤巻 優樹	
監事	見 附	山口 裕子	
理事	上 越	加藤 達也	教
理事	上 越	竹田 義信	組
理事	糸魚川	伊藤 孝行	組
理事	妙 高	高波 泰平	広
理事	長岡市出雲崎町	高橋 卓弥	教
理事	長岡市出雲崎町	阿部進太郎	組
理事	三 条	青野 順子	広
理事	柏 崎	工藤 孝一	教
理事	加 茂	小日向妙子	広
理事	見 附	山口絵美可	組
理事	小千谷	小林 恵	広
理事	十日町市津南町	高橋 雅人	教
理事	南魚沼	戸田 祐章	組
理事	魚 沼	星 努	教
理事	田 上	馬場 大輔	広

役職	所属	氏名	委員会
理事	新発田	菅家 基史	組
理事	五 泉	目黒 達郎	広
理事	燕・弥彦	富田 憲	教
理事	村上市岩船郡	富樫 魁斗	教
理事	阿賀野	河本 朋也	広
理事	佐 渡	菊池 真美	組
理事	胎 内	花野 美佳	教
理事	聖 籠	内山 沙織	組
理事	阿 賀	長谷川久榮	広
理事	小学校長会	小島 誠	教
理事	中学校長会	藤原 明	組
理事	教職員組合	鈴木 宏子	教
理事	教職員組合	金内 香	広
顧問	小学校長会	藤本 高雄	
顧問	中学校長会	長谷川裕高	
顧問	県P連	岩渕里江子	
顧問	県P連	宮下あさみ	
顧問	県P連	長下部真太	
事務局長	県P連	市村 吉之	
事務局次長	県P連	玉木 浩	
事務局員	県P連	大久保祐子	
事務局員	県P連	羽田野悦子	

各専門委員会 今年度活動方針

教育問題委員会活動方針 教育問題委員長 加藤 達也

しっかり子どもと向き合うことで、さまざまな課題にも解決の糸口が見えてくるものと考えます。今年度は「親子のコミュニケーション」をテーマに掲げました。今一度子育ての原点に立ち帰り、私たち保護者も共に学び、成長する機会を提供できるよう活動してまいります。



広報委員会活動方針 広報委員長 長谷川久榮

広報紙は年2回発行となります。限られた情報、記事になってしまいますが、限られた中でも今伝える事、載せるべき記事の配置など、委員会で話し合い、より良い広報紙の発行が出来るよう活動して行きたいと思います。



組織検討委員会活動方針 組織検討委員長 阿部進太郎

組織検討委員会では、各PTAの実情や課題を踏まえ、役員負担の軽減や活動内容の見直しなど、持続可能な組織運営に向けた検討を進めています。子どもたちの健やかな成長を支えるため、誰もが関わりやすく、将来にわたって継続できる、魅力ある組織づくりを進めてまいります。



第24回新潟県PTA広報紙コンクール入賞PTA



中学校の部
最優秀賞

三糸市立
第三中学校PTA



現PTA会長 長澤 吉明

素晴らしい賞をいただき光栄です。制作に尽力された皆様に感謝いたします！



小学校の部
最優秀賞

胎内市立
中条小学校PTA



前広報部長、現PTA副会長 岡田 真樹

引き継いだ想いは子どもの姿、四年目の快挙でバトンを繋ぎます！

【小学生の部】
最優秀賞に輝いた中条小学校PTA（胎内市）の「さんせん橋」は、表紙に見出し付きの目次をはじめに、この度は、審査委員長という大役を初めて務めさせていただきました。小学校・中学校の2部門に寄せられた応募作品を、興味深く拝見いたしました。今回の審査では、特に次の3点を重視しました。
・企画・特集のユニークさ
・独自性のある企画や特集が組まれているか
・PTA活動の魅力的な紹介
PTA活動を取り上げ、会員の関心を集める内容になっているか
・デザイン・レイアウトの適切さ
読者の目を引く見出しや写真、読みやすいレイアウトになっているか
いずれの作品も意欲にあふれ、作り手の熱意と各校の特色が伝わってくる素晴らしい広報紙ばかりでした。

【中学生の部】
最優秀賞の第三中学校PTA（三糸市）の「よつば」は、大変秀逸な作品でした。定番である会長と校長の挨拶に、思わず読みたくなるような見出しやイラストを添える工夫が光ります。さらに、専門部の活動報告、学校側からのメディア利用に関する寄稿、相談窓口案内のQRコード添付など、会員相互のつながりを意識した企画が随所に見られ、広報紙の果たすべき役割を深く理解されていると感じました。

広報紙のあり方を考える好機に

新潟日報社編集局総務 杉崎 文治様

広報紙の現状と未来への提言
現在、PTA広報紙の発行数は減少傾向にあり、また、内容面でも「学校だより」との差別化に苦みされているとの声を耳にします。これはPTA広報紙にとって逆境といえるかもしれませんが、しかし、この状況はむしろ「PTA」広報紙とは本来どうあるべきか」という原点に立ち返る絶好の機会であるともいえます。

広報紙の最も大切な役割は、PTAという組織の活動を会員や地域に広く伝えることです。各PTAが独自に力を入れている活動を紹介するだけでなく、それは他にはない企画となり、魅力的な広報紙が完成します。組織一丸となって取り組んだイベント、アンケート調査、活動報告など、会員や地域に「伝えた」と強く思うことを、ぜひ積極的に盛り込んでいただきたいと思っています。

デジタル化の波と新たな挑戦
今回は応募がありませんでしたが、紙媒体だけでなく、デジタルで広報を発行する学校も増えていくと伺っています。SNSでの短文投稿が主流の現代において、横書きが基本となるデジタル媒体でいかに読者の心をつかむか、紙媒体とは異なるデザインスキルや構成力が求められます。その一方で、的確な見出しと簡潔な文章で読者を引きつけるという編集の基本テクニックは、媒体を問わず有効です。

おわりに
今回の審査を通して、高い評価を得た広報紙の優れた点や制作のノウハウを共有する機会が、そして、各校の担当者が学校の垣根を越えて交流する場が、今後ますます重要になると感じました。個々の学校で培われた知見やスキルを県全体で共有できれば、新潟県全体のPTA広報紙の質はさらに向上していくこととしましょう。

最後に、広報紙制作に携わるすべての方々の熱意とご尽力に心から敬意を表します。今後も、子どもたちと学校、そして地域をつなぐ素晴らしい広報紙が、数多く発行され続けることを祈念し、私の審査講評とさせていただきます。



（応募数：小学校5校 中学校5校）

校種	賞	単位PTA名	広報紙名
小学校の部	最優秀賞	胎内市立中条小学校PTA	さんせん橋
	企画賞	長岡市立神田小学校PTA	よつば
	レイアウト賞	南魚沼市立五十沢小学校PTA	きずな
	レイアウト賞	上越市立大潟町小学校PTA	あらいそ
	広報委員会賞	糸魚川市立糸魚川東小学校PTA	まがたま

校種	賞	単位PTA名	広報紙名
中学校の部	最優秀賞	三糸市立第三中学校PTA	きずな
	写真賞	新発田市立第一中学校PTA	だいいち
	レイアウト賞	糸魚川市立糸魚川中学校PTA	笑顔
	レイアウト賞	新潟県立津南中等教育学校PTA	未来
	レイアウト賞	阿賀野市立安田中学校PTA	けやき

※ 最優秀賞、企画賞、写真賞、レイアウト賞は、全国小・中学校PTA広報紙コンクールへ推薦いたします。



令和7年度 日本PTA国内研修事業参加報告

PTA国内研修で学んだこと 県立直江津中等教育学校 小川 和葉

私は研修でさまざまな活動をしたが、1番記憶に残っているのは、宿舎で行ったカードゲームです。ローカルルールが多く、自分の当たり前が伝わらないことに驚きました。その他にも班のみんなと計画したウォークラリーでは、班の中での役割を意識しながら行動することができました。

この4日間での経験を通して、たくさんの学んだことを将来に生かせるように行動していきたいです。そして、今回出会った研修の仲間とのつながりを大切にしたいです。



魚沼市立湯之谷中 小島 月菜

研修での発見

私は今回の研修で、様々な発見がありました。まず、初対面の人とでも協力できるということです。YCAPやウォークラリーなど研修のほとんどがグループ活動でしたが、まだ会ったばかりのみんなとでも楽しく活動できました。

また、加賀屋克美さんの講演では、夢を追うことの大切さなど将来につながる様々なことに気付かされました。

この研修は私にとって貴重な経験でした。今回の発見を忘れず、自分の今にも未来にも生かしていきたいです。

令和8年度 研修会 本部主催

令和8年7月4日(土) 阿賀野市ふれあい会館

講師：新発田市教育委員会教育センター指導主事
丸田 磨里 様
新発田市立二葉小学校PTA会長
後藤仁義志 様

演題：これからの持続可能なPTA活動について
～今日から自分ができること～



無理なく関わり、つながるPTA活動

丸田磨里様のお話では、学校敷地内の森を生徒や保護者、地域の方々と一緒に整備する活動を通じ、世代を越えた一体感が生まれたことが印象に残りました。後藤仁義志様からは、PTA組織を見直し、希望者が参加するボランティア制へ移行した実践を伺いました。募集方法などに課題はありながらも、役割を限定し、参加しやすくすることで、多くの方が手を挙げているとのことでした。PTA活動を持続させるためには、負担を減らすだけでなく、参加する楽しさや達成感を共有できる仕組みづくりが大切だと学びました。

県P連副会長 大塚 雪乃



持続可能なPTA活動にするために

共働きの増えた今、「PTA役員なんてムリ!」と思う方は多いです。私もくじ引きで役員になり、広報紙に文章を書く側になるとは想像もしていませんでした。新発田市立二葉小学校の「PTA活動をボランティア制に」という試みを伺い、「スーパーヒーロー」に頼るのではなく、「一家庭一ボランティア制」で多くの方が参加しやすい仕組みづくりが持続可能なPTA活動の鍵だと感じました。全員参加で無理なく活動できるよう参考にしたいです。

三条市PTA連合会 青野 順子



これからのPTAのかたち

後藤様、丸田様の取り組み事例をお聞きし、これからのPTA組織の活動を持続させるには、負担を軽減しつつも、いかに保護者そして地域の主体性を育むかが重要になると印象付けられました。

ボランティア募集制度や交流拠点の創出等、具体的な各取り組みに、学校統合を迎える中で今後のPTA組織及び活動を再検討する必要性に直面した我が市P連にも新たなヒントをいただいた貴重な時間となりました。

加茂市小中学校PTA連絡協議会 小日向妙子

第74回日本PTA
全国研究大会

奈良大会

令和8年8月21日(金)・22日(土)

建国の地 大和からの発信
コンヴィヴィアリティな「わ」
～挑戦するなら今しかない～



第2分科会

楽しみながら考える力で豊かな学びを実現するには
～ “湧く湧く”の好奇心が学びを変える～ に参加して

県P連 副会長 高澤 樹



少子化や働き方改革など、子どもたちの学習の環境も大きく変化しています。本来、明るく楽しい学校生活であるべきですが、不登校や学習意欲の低下など、様々な問題が起きています。

子どもたちが学校で何を学んでいるのか? その取り組みを学んでまいりました。

基調講演では、『みんなで作曲して歌う』ことで、楽しみながら学ぶことが大切だと学びました。

また、生駒市の学校の取り組みが紹介され、学校を取り巻く環境づくりや、子どもたちと行政や企業とコラボによる学びの場の事例を聴くことができました。まずはアクション! 私たち大人も学び、よりよい学校教育について語り合いましょう。

特別第1分科会

倭の心から考える、これからのPTA
～ PTAの『わ』を広げるために～ に参加して

五泉市P連 目黒 達郎



全国から集まったPTAの仲間との交流や分科会での学びを通して、改めて『つながること』の大切さを実感しました。

特別第1分科会では『PTAは子どもたちの代弁者』という言葉が強く心に残りました。

PTA不要論が語られる今だからこそ、子どもたちの声を受け止め、学校や地域へ届けることは、私たちPTAの大切な役割です。子どもたちの未来の為に互いに力を合わせ、PTAの『わ』を少しずつ広げて行きたいと思います。

編集後記

「持続可能な」という言葉を、様々な場面で耳にするようになりました。時代の流れとともに、「形を変える」という選択肢も必要なのかもしれません。そんな中でも、私たちが大切にしたいのは「子どもたちの幸せ」を真ん中に置くことではないでしょうか。このたびの県P広報紙が、これからのPTA活動、そして子どもたちの幸せについて、改めて考えるきっかけとなれば幸いです。最後になりましたが、寄稿いただきました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(広報委員 河本 朋也)

未来が育つ! 心が育つ、

いじめ見逃しゼロ県民運動

24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310 または 025-285-1212

新潟県いじめ・ふとうこう等相談メール
ijime@mailsoundan.org

子どもたちの学ぶ環境を改善するため 「教育予算増・教職員定数増を求める」 署名のお願い

教育をよくする新潟県民会議 共同代表 横山 由美子 土田 志津子

今、学校では、不登校やSNSによるいじめなどが増え、問題になっています。

一人ひとりの子どもの心に寄り添った、きめ細かな教育活動を進めることが解決への一歩と考えます。

そのためには、教職員の定数や支援スタッフ等の配置を増やしたり、老朽化した校舎の修繕や体育館のエアコン設置等の施設を整備したりできる教育予算の増額が必要です。

毎年、新潟県小中学校PTA連合会の皆さまからいただいた署名を新潟県教育委員会に提出し(昨年度は67,035筆)、改善の願いをしてきました。今年度も問題の解決に向け署名の取組を行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

(一社)新潟県PTA安全互助会からのお知らせ

新潟県PTA活動補償制度

制度拡充！ワイドプラン新設

従来の基本プランに加え、より幅広い補償に対応する「ワイドプラン」を新設しました。

さらに安心できる補償へ

補償内容を拡充

- 児童・生徒賠償責任補償 □施設賠償責任補償
- サイバーリスク補償 □保管物賠償責任補償
- 財物復旧費用補償

学校が負う様々な賠償責任リスクを幅広くサポート

学校や教職員が負う賠償責任リスクへの備え

従来の基本プラン(現行の新潟県PTA活動補償制度)

単位PTAや各PTA連合会が主催または共催する行事中の事故が対象です。

○年会費：150円(会員1名あたり)

[NEW]ワイドプラン

従来の基本プランの内容に加え、児童・生徒の日常生活の事故や、学校を取り巻く様々なリスクに対応した充実プランです。

○年会費：500円(基本プラン150円+ワイドプラン350円)(会員1名あたり)

※ワイドプランは令和9年度加入分からご加入いただける予定です。詳細は決まり次第ご案内いたします。

新潟県小中学校PTA連合会・新潟市小中学校PTA連合会 会員のみなさまへ

一般社団法人新潟県PTA安全互助会の任意加入の制度です
小・中学生総合補償制度追加募集のお知らせ

令和
8年度

お子さまの「困ったとき」のお役に立ちます

(団体総合生活保険)

団体割引等
最大 **51%**
割安

弁護士費用等
補償特約あり*

子どもがいじめにあってしまった*

子どもが学校から借りたタブレットを壊してしまった

子どもが熱中症になってしまった

子どもが自転車で他人にけがをさせてしまった

イラスト © 東京海上日動

学校内・部活動中・通学中・プライベートを問わず**24時間**しっかりサポート

募集締切	WEBでのお申し込み
締切日	毎月末日23時59分 最終締切：10月31日(土) 23時59分
加入者保険期間	申込月の翌月1日午後4時から 令和9年4月1日午後4時まで



追加募集用

お申し込みは、
スマートフォン・タブレット・
パソコンから
簡単に手続きできます

*PCからの場合は、<http://ezoo.jp/ds4/A01268426042511>より
アクセスしてください。

- 制度に関するお問い合わせ先
一般社団法人新潟県PTA安全互助会
(取扱幹事代理店 株式会社コーリン)
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0361
(受付時間/月曜～金曜 10:00～16:00)
- 非幹事代理店 よりそう保険コンシェル株式会社

- 【引受幹事保険会社】
東京海上日動火災保険株式会社
- 【引受非幹事保険会社】
共栄火災海上保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
AIG損害保険株式会社



© 新潟県

この広告は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。*補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。